

■ドイツ：E.ONが大規模な事業再編を検討

地元紙は2010年11月8日、E.ONが事業再編に乗り出すと報じた。報道によると、E.ONは英国やドイツの配電網、ドイツの送ガス網、3.5%を保有するロシアのガスプロム株の売却の検討をしている。また、同社はその売却で得た資金を元に中国、インド、ブラジル等の新興国の発電事業へ投資や巨額な負債の圧縮に充てるとしている。同社は現在、474億ユーロの負債を抱えているうえに、今後3年間で利益が30%減少する見通しが立てられている。また、同社は10月にイタリア、スペイン、フランスで資産価値の見直しで26億ユーロもの減損処理を実施している。同社が売却を検討している英国の配電網は、英国の中央に位置し、800万人へ電力を供給している。売却に向けては、アブダビ投資庁、オーストラリアの投資銀行であるマッコーリーやカナダの年金基金らと話し合いがもたれている模様。売却額は40億ユーロ程度と予想されている。